

仕事 の窓 6

運輸部

若年内航船員確保推進事業

～将来の船員育成のために海事セミナー、
体験学習、就業体験を実施～



海事セミナー（船員教育講義）



海事セミナー（船舶見学）



体験学習（操船シミュレーター）



体験学習（学生との意見交換）



就業体験（フェリー甲板）



就業体験（フェリー受入）

四面を海に囲まれた我が国において、船舶による海上輸送は、国民生活及び経済活動並びに観光振興などに欠かせないものとなっている中、今後の安定的な海上輸送を確保するにあたっては、海上輸送を担う人的基盤たる船員の安定した確保育成が必要不可欠です。特に船員供給源が国内に限定されている内航海運においては、年齢構成を見ると45歳以上の割合が約6

沖縄若年内航船員確保推進協議会（事務局：沖縄総合事務局運輸部）は、若年内航船員の人材確保育成のため、就職段階の高校生、進路段階の中学生、理解醸成段階の小学生、認知度向上のための教育関係者や保護者など、各段階に応じたバリエーションのある取組を行っています。

割と高い状況になっており、船員供給機関（海上技術学校、海上技術短期大学校など）からの供給がなされたとしても、急激な船員不足が生じるとされ、国内安定輸送の確保のためには若年の内航船員の確保が喫緊の課題になってます。

沖縄県においても全国と同様な傾向があるため、沖縄若年内航船員確保推進協議会では、段階に応じた取組を行っており、今年度も引き続き次の取組を行っています。

就職段階の高校生に対しては夏休み期間の7月25日～8月26日に沖縄水産高校及び宮古総合実業高校、八重山高校及び八重山農林高校の生徒を対象に県内の内航船（貨物船、旅客フェリーなど）で「就業体験（インターンシップ）」を実施しました。

進路段階の中学生に対しては同じく夏休み期間の8月19日に沖縄水産高校及び実習船（海邦丸五世）に

において、県内の中学生及び保護者、教師などを対象に船員の仕事についての説明、学校施設の見学、実習船「海邦丸五世」の見学などの「体験学習」を実施し、将来の沖縄を担う船員になるために県内の水産高校でどのような資格を取得できるかなどについて学びました。

また、6月29日に、昨今船舶の大型化などにより船員不足になりつつある八重山地区において初めて、船員の認知度向上のための高校の進路指導担当者向けにフェリー見学も含めた「海事セミナー」を実施しました。なお、11月には小学生対象の「海事教室」も実施予定で、今後とも、引き続き海事思想の普及・啓発活動を含め、若年船員の人材確保・育成に関する取組を積極的に推進していきます。